

事業名	担い手育成総合事業		担当課名	まちづくり推進課		
総合戦略における基本目標	■ 基本目標4 地域資源を生かした活力あふれる暮らしの創出 ■ 方向1 健康づくり・元気づくりの促進と地域づくりを担う人材の育成					
事業始期	令和元年6月		事業終期	令和6年3月		
	令和元年度 決算 (1年目)	令和2年度 決算 (2年目)	令和3年度 決算 (3年目)	令和4年度 決算 (4年目)	令和5年度 当初予算 (5年目)	計
事業費	16,368千円	8,546千円	5,334千円	4,700千円	4,530千円	39,478千円
交付金充当額	8,184千円	3,640千円	2,667千円	1,882千円	2,265千円	18,638千円
事業の目的	一人ひとりが地域課題に関心を持ち、みんなで地域づくりをするという意識を持つことで、将来的に地域で活躍する複数人のキーマンを育成する。					

1. 事業概要
 北広島町は長期総合計画において当町がめざすまちの将来像として『新たな感動・活力を創る北広島～ひとのチカラがあるれるまち～』を掲げている。そして重点方針を『地域に根付き、未来を担うひとづくり』としている。「きたひろ学び塾～With」は『「学びから始まるひとづくり」の活動による、持続可能な地域社会』を理念に、「次世代を担う地域リーダーの育成」に向けた取り組みとして令和元年度から本格稼働した。

(1)事業のねらい

「学びから始まる人づくり」の活動による
 持続可能な地域社会

これからもずっと元気な「きたひろしま」で在るために...
持続可能なコミュニティの実現
 学ぶことを通じて地域の課題を知る。
 地域に関心を持つことが、地域の活性化につながる第一歩となる。

守り、はぐくみ、伝えたい
地域への愛着醸成
 住民が自ら行動することにより、地域の新しい魅力を発見したり作り出すことができる。
 それにより地域のことがもっと好きになる。

みんなで持ち寄り知恵とワザ、みんなで取り組む「まちづくり」
多様なつながりの創出
 『きたひろ地域づくりプラットフォーム』すなわち人や情報を結びつける土台を形成することにより、『自発的な地域づくり』の仲間の輪が広がる。

(2)事業のねらいと効果

地域への関心の向上と地域課題の共有
 ■ 地域課題の解決に取り組もうとする人材の育成のために、必要な知識・技術の習得を後押しする。
 ■ 地域の課題を『自分事』として認識し、地域住民や公の組織が情報を共有できる環境を整備する。

横断的な取り組みの推進
 ■ 公の組織が相互に繋がることにより、職員それぞれの知識や経験を活用する。
 ■ 職員間で情報を共有する。

地域における取り組みの活性化
 ■ 学びを通じて地域課題に取り組む人材を育成する。
 ■ 『きたひろ学び塾』で習得した知識・技術を活用した地域での取り組みを活性化させる。

人のつながりと情報共有の場の創出
 ■ 民と民、官と官、そして民と官が連携することにより、『きたひろ地域づくりプラットフォーム』の機能を円滑かつ効果的に発揮させる。

2. 事業の特色
 「きたひろ学び塾～With」は長期総合計画の5つの施策分野に基づき、「5学部6プログラム」で構成されている。この5つの学部のいずれかに各支所や消防本部を含む全課が振り分けられ、行政組織全体での取り組みを展開している。

■ 「きたひろ学び塾～With」は全ての部署が連携して行う事業である。
 ■ 学部運営やプログラムの企画・運営において、現在の所属課に囚われず、これまでの業務で培ってきた知識や技術を活用できる場となる。
 ■ 官民連携にとどまらず、課や職員間の連携による「協働のまちづくり」が期待できる。
 ■ 「きたひろ学び塾～With」はそれらの人と知識・技術・情報をつないでいく共有の場(プラットフォーム)の役割を果たすことができる。

重要業績評価指標 (KPI) ※数値は初年度を基準とする増加ポイントを表す。

KPI	事業開始前 (計画時点)	令和元年度 (1年目)	令和2年度 (2年目)	令和3年度 (3年目)	令和4年度 (4年目)	令和5年度 (5年目)	KPI増加分 (累計)
	目標値(増加分)	-	60%	10%	10%	0%	80%
実績値(増加分)	-	91.9%	8.10%	0.0%	0.0%		達成

2年目に目標の上限値に達成しているため、3年目以降は0.0%で表す。

2. 地域におけるワールドカフェ等の参加者の増加 ※数値は計画時点を基準とする増加分を表す。

KPI	事業開始前 (計画時点)	令和元年度 (1年目)	令和2年度 (2年目)	令和3年度 (3年目)	令和4年度 (4年目)	令和5年度 (5年目)	KPI増加分 (累計)
	目標値(増加分)	200人	50人	100人	150人	0人	50人
実績値(増加分)	-	81人	24人	-25人	15人		95人

3. 地域活動団体等における活動実施件数の増加 ※各年度数値は計画時点を基準とした増加分を表す。

KPI	事業開始前 (計画時点)	令和元年度 (1年目)	令和2年度 (2年目)	令和3年度 (3年目)	令和4年度 (4年目)	令和5年度 (5年目)	KPI増加分 (累計)
	目標値(増加分)	4件	6件	8件	10件	5件	5件
実績値(増加分)	-	6件	-1件	10件	5件		20件

(KPI) 1.人材育成プログラム受講者の満足度の向上
 当初より住民ニーズに沿っており、(2年目に目標の上限値に達成し)高評価のまま推移している。

(KPI) 2.地域におけるワールドカフェ等の参加者の増加数
 新型コロナウイルスの影響により、予定されていたものが中止となった反面、新たな会合が催された。

(KPI) 3.人材育成プログラム受講者の満足度の向上
 本事業により得た学びを地域で実践しようという動きがある。

令和4年度の事業評価 (町による内部評価と判定理由)
1. 地方創生への効果 地方創生に効果があった。
 KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる。
2. 自立化の進捗状況 実施計画に記載された自立化の見込：あり
 見込みどおり自主財源等を確保した。

課題・問題点
 ・実際に地域で活動を行っている受講生の活動実績を追跡できない。
 ・学びが受講生にとどまり、地域活動に結びつかない。地域活動への足がかりとして、行政サイドが受講生の活動を後押しできる「きっかけ作り」が求められる。

令和4年度地方創生推進交付金対象事業（評価シート）

地域再生計画（第55回認定）：高校を核とした新たな人づくり・人の流れづくりプロジェクト

事業名	高校を核とした新たな人づくり・人の流れづくりプロジェクト				担当課名	学校教育課
総合戦略における基本目標	<p>■ 基本目標2 キタを体感する交流・定住と次代を担うひとづくりの推進</p> <p>■ 方向2 ふるさとを愛する心と夢を育む教育の推進</p>					
事業始期	令和3年4月		事業終期	令和7年3月		
	令和3年度 決算 (1年目)	令和4年度 決算 (2年目)	令和5年度 当初予算 (3年目)	令和6年度 当初予算 (4年目)		計
事業費	18,579千円	16,706千円	22,156千円			38,862千円
交付金充当額	8,697千円	8,352千円	11,078千円			19,430千円
事業の目的	持続的な地域活性化のため地元高校と地域の協働による魅力ある教育環境をつくり、地域資源を活かした豊かな学びを創出し、地域の将来を担う子どもを育成する。					
事業概要	<p>1. 事業概要</p> <p>高校を核とした新たな人づくり・人の流れづくりプロジェクト</p> <p>1. 地域みらい留学 2,196,690円</p> <p>(1)地方の魅力ある教育環境や受入体制について都市部等へのプロモーションを展開</p> <p>○WEB・広報宣伝費 1,207,690円</p> <p>チラシ・パンフレットの作成、WEBページの作成、PR動画の作成等を実施</p> <p>(2)都市部等で中学生親子に向けた合同説明会「地域みらい留学フェスタ」を開催</p> <p>○開催負担金 880,000円</p> <p>(一財)地域・教育魅力化プラットフォームが東京・大阪・名古屋・福岡で開催する「地域みらいフェスタ」への開催負担金等</p> <p>(3)都市部等の中学生親子を対象にした各高校での学校説明会・個別説明会を実施</p> <p>○企画運営に係る業務委託料 109,000円</p> <p>都市部の中学生親子が各高校を回るためのバスの借上げ経費等</p> <p>2. 高校×地域 14,509,271円</p> <p>(1)地域と高校をつなぐことに特化した人材や専門スキル・ノウハウを持つNPO法人等を「魅力化コーディネーター」として育成・配置</p> <p>○専門人材の雇用又はNPO法人等への業務委託 1,387,190円</p> <p>(2)地域住民の参画による課題先進地域をフィールドとした最先端の課題解決型学習、ふるさと教育やキャリア教育を実施</p> <p>○高校生が地域づくりに参画・挑戦する事業の実施経費等 935,745円</p> <p>高校生が地域づくりに参画・挑戦する「地域課題解決型学習」や「多世代対話型交流学習」、「大学企業連携事業」「グローバルの視点からの課題解決型学習」を実施</p> <p>○高校生によるインターンシップの実施に係る児童生徒輸送費 55,000円</p> <p>高校生による地域での就業観を醸成する「インターンシップ」を実施</p> <p>○小中学校での「ふるさと/キャリア教育」実施経費等 959,336円</p> <p>高校での地域との協働による学びにしっかり接続し、より充実していくため、小中学校での「ふるさと/キャリア教育」の推進</p> <p>(3)放課後等を利用し、地域の多様な大人が関わりながら、幅広い学力層の生徒の学習機会を提供</p> <p>○公営塾運営委託料 4,520,000円</p> <p>(4)地域・学校・行政が連携し地域外生徒を受入れる体制を整備</p> <p>○市町村の交流・研修施設等の地域資源を最大限に活用した寮の運営 6,552,000円</p> <p>寮を運営する団体への補助金</p> <p>(5)高校や地域の個性に応じた魅力と特色ある教育活動を応援するための財源「地域ファンドレイズ」の検討・導入</p> <p>○検討経費 100,000円</p>					

事業概要	<p>2. 事業の特色</p> <p>学校・地域住民・行政が三位一体となって地域の諸活動に参画し、地域の特色を活かした事業を展開することで、まち全体で地域の将来を担う子どもたちを育成するとともに、地域コミュニティの活性化を図る。</p> <p>■都市部等に向けて地域の魅力ある教育環境や受け入れ体制のプロモーションを展開</p> <p>■都市部等で中学生親子に向けた合同説明会への参画</p> <p>■都市部等の中学生親子を対象にした各高校での学校説明会・個別説明会の実施</p> <p>■高校生が地域づくりに参画・挑戦する「地域課題解決型学習」等の実施により生徒の満足度が高まる学校生活</p> <p>■高校生による地域での就業感を醸成する「インターンシップ」の実施</p> <p>■グローバルな視点を持ち地域課題解決に取り組む高校生育成事業の実施</p>																																																					
重要業績評価指標（KPI）	<p>1. 地元高等学校数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>KPI</th> <th>事業開始前 (計画時点)</th> <th>令和3年度 (1年目)</th> <th>令和4年度 (2年目)</th> <th>令和5年度 (3年目)</th> <th>令和6年度 (4年目)</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値（維持）</td> <td>-</td> <td>3校</td> <td>3校</td> <td>3校</td> <td>3校</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値（変動分）</td> <td>-</td> <td>3校</td> <td>3校</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 将来、北広島町に住みたいと思う中学校3年生の割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>KPI</th> <th>事業開始前 (計画時点)</th> <th>令和3年度 (1年目)</th> <th>令和4年度 (2年目)</th> <th>令和5年度 (3年目)</th> <th>令和6年度 (4年目)</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値（増加分）</td> <td>-</td> <td>50%以上</td> <td>50%以上</td> <td>50%以上</td> <td>50%以上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値（増加分）</td> <td>-</td> <td>34%</td> <td>37%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※長期総合計画の成果指標に基づき質問内容を変更した。</p>						KPI	事業開始前 (計画時点)	令和3年度 (1年目)	令和4年度 (2年目)	令和5年度 (3年目)	令和6年度 (4年目)			目標値（維持）	-	3校	3校	3校	3校			実績値（変動分）	-	3校	3校					KPI	事業開始前 (計画時点)	令和3年度 (1年目)	令和4年度 (2年目)	令和5年度 (3年目)	令和6年度 (4年目)			目標値（増加分）	-	50%以上	50%以上	50%以上	50%以上			実績値（増加分）	-	34%	37%				
KPI	事業開始前 (計画時点)	令和3年度 (1年目)	令和4年度 (2年目)	令和5年度 (3年目)	令和6年度 (4年目)																																																	
目標値（維持）	-	3校	3校	3校	3校																																																	
実績値（変動分）	-	3校	3校																																																			
KPI	事業開始前 (計画時点)	令和3年度 (1年目)	令和4年度 (2年目)	令和5年度 (3年目)	令和6年度 (4年目)																																																	
目標値（増加分）	-	50%以上	50%以上	50%以上	50%以上																																																	
実績値（増加分）	-	34%	37%																																																			
実績値累計の目標達成・未達理由	<p>(KPI) 1. 地元高等学校数</p> <p>広島県教育委員会が県立高校の統廃合を検討する基準を定めているが、地元県立高校の特色を生かし、魅力ある学校づくりの取り組みを続け存続を達成している。</p> <p>(KPI) 2. 将来、北広島町に住みたいと思う中学校3年生の割合</p> <p>長期総合計画の成果指標に基づき、今年度から質問項目を「住みたいと思う」から「貢献したいと思っている」に変更した。その学校評価アンケートの結果によると、「将来北広島町に貢献したいと思っている」という質問の回答は37%と、比較的高い割合となっている。小中高の交流活動によって、児童生徒の刺激になっていることや、地域と学校の協働による教育環境の向上が地域に貢献したい気持ちにつながっている。</p>																																																					
令和4年度の事業評価（町による内部評価と判定理由）	<p>1. 地方創生への効果 地方創生に相当程度効果があった。</p> <p>一部のKPIが目標間に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる。</p> <p>2. 自立化の進捗状況 実施計画に記載された自立化の見込：あり</p> <p>見込みどおり自主財源等を確保した。</p>																																																					
課題・問題点	<p>・芸北分校は、県内外からの入学者数は増加傾向にある一方、芸北地域の生徒数の減少が見込まれることから、引き続き他地域の生徒からも選ばれる学校となるように地域の特色を活かした魅力づくりが必要である。</p> <p>・千代田高校は、千代田中学校から千代田高校への進学率が伸び悩んでおり（43%（前年48.1%））引き続き、地元中学校から選ばれる学校になるための積極的な魅力づくりに向けた取り組みが必要である。</p> <p>・【知与塾】入塾生へのアンケート調査の結果、肯定的な回答が多く、生徒の進学に対する意識は高まってきている。早期の学習習慣の確立に向けて、引き続き1年生からの受講生を確保する。千代田高等学校へのプラスアルファの付加価値をつけることにより、地元中学校の進学率62%以上の確保と学校規模の安定的な確保を図るとともに、地域の次世代を担う人材を確保することが課題である。</p>																																																					